

55分授業（カセット方式）について

放課後の部活動の時間を確保しつつ、LHR等を含めた33単位分の授業を週5日で行う方法として考案されたのが、この55分授業（カセット方式）です。

33単位分を50分授業で行うと【図1】のように7限目を週3日設定する必要があり、放課後の部活動の開始時間が遅くなってしまいます。

【図1】

	月	火	水	木	金
1限	50分	50分	50分	50分	50分
2限	50分	50分	50分	50分	50分
3限	50分	50分	50分	50分	50分
4限	50分	50分	50分	50分	50分
5限	50分	50分	50分	50分	50分
6限	50分	50分	50分	50分	50分
7限	50分	50分	50分		

SHR 8:30～（1限 8:45～）

6限終了 15:10

7限終了 16:10、SHR・清掃、**放課 16:30**

そこで、【図2】のような時間割を作成し、1コマ55分で授業を行います。

【図2】

	月	火	水	木	金
1限	55分	55分	55分	55分	55分
2限	55分	55分	55分	55分	55分
3限	55分	55分	55分	55分	55分
4限	55分	55分	55分	55分	55分
5限	55分	55分	55分	55分	55分
6限	55分	55分	55分	55分	55分

カセット

55分

55分

55分

SHR 8:30～（1限 8:45～）

6限終了 15:40、SHR・清掃、**放課 16:00**

図2の右側にある「カセット」は、【図3】のように週替わりで時間割の入れ替えを行い、11週間で一周させます。

【図3】

第1週	第2週	第4週	第6週	第8週	第10週
月 火 水 木 金	月 火 水 木 金	月 火 水 木 金	月 火 水 木 金	月 火 水 木 金	月 火 水 木 金
1	1	1	1	1	1
2	2	2	2	2	2
3	3	3	3	3	3
4	4	4	4	4	4
5	5	5	5	5	5
6	6	6	6	6	6

第3週	第5週	第7週	第9週	第11週
月 火 水 木 金	月 火 水 木 金	月 火 水 木 金	月 火 水 木 金	月 火 水 木 金
1	1	1	1	1
2	2	2	2	2
3	3	3	3	3
4	4	4	4	4
5	5	5	5	5
6	6	6	6	6

※第1週はカセット無し。第2週以降はグレー部分にカセットをはめ込み、11週間で一周させる。

このように授業を行っていくと、どの授業コマも11週間で1回お休みがあり、55分の授業が11週間で10回行われる計算となります。

これを50分授業と比較すると以下の計算となり、1コマあたりの11週間の授業時間は550分と等しくなります。

50分授業 $50分 \times 11回 = 550分$ 55分授業 $55分 \times 10回 = 550分$

また、1週間の授業時間も以下のとおり1,650分と等しくなります。

50分授業 $33コマ \times 50分 = 1,650分$ 55分授業 $30コマ \times 55分 = 1,650分$